

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	221
平成18年度部名	保健福祉部	課名	相模湖福祉課	課長名	井上 明
平成19年度部名	福祉部	課名	相模湖福祉課	課長名	井上 明
事務事業名	生きがいサービス事業				
予算上の事務事業名	生きがいサービス事業				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11210	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
相模原市相模湖地域生きがい対応型サービス事業実施要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	サービス提供		5 事業開始年度	平成12年度	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
ひとり暮らしや日中独居等により家に閉じこもりがちな60歳以上の高齢者を対象に、生きがい活動等のサービスの提供を通じて、介護予防を図る。				60歳以上のひとり暮らし高齢者等(介護保険サービスを利用できる人は対象外)	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人相模原市社会福祉協議会に委託により実施 ・日常動作訓練、軽体操、レクリエーション、趣味、創作活動、生活指導等を実施し、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び介護予防の実施 ・利用者数 26名(月曜日 6名・火曜日 11名・金曜日 9名) ・利用者負担 : 1回あたり 300円 その他材料費等 150円(必要時徴収) 					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	3,644	3,724	3,724
一般財源	0	0	3,644	3,724	3,724
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計	0	0	3,644	3,724	3,724
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	生きがいサービス事業			対象名称 と単位	利用者(人)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	3,644	3,724	3,724
対象数	0	0	1,060	1,100	1,100
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	3,438	3,385	3,385
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.98	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	延べサービス利用者数の対前年比	指標式と指標の説明	本年度延べ利用者数/前年度延べ利用者数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	100.8		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.8		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	延べサービス利用者数の対前年比	指標式と指標の説明	本年度延べ利用者数/前年度延べ利用者数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	100.8		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.8		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		介護予防の見地から、家に閉じこもりがちな高齢者に対し、本事業は外出の機会をもうけ、生きがい対策をしていくことが重要と思われる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
市社会福祉協議会への委託事業であるが、更なる内容充実をはかりたい。					
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			